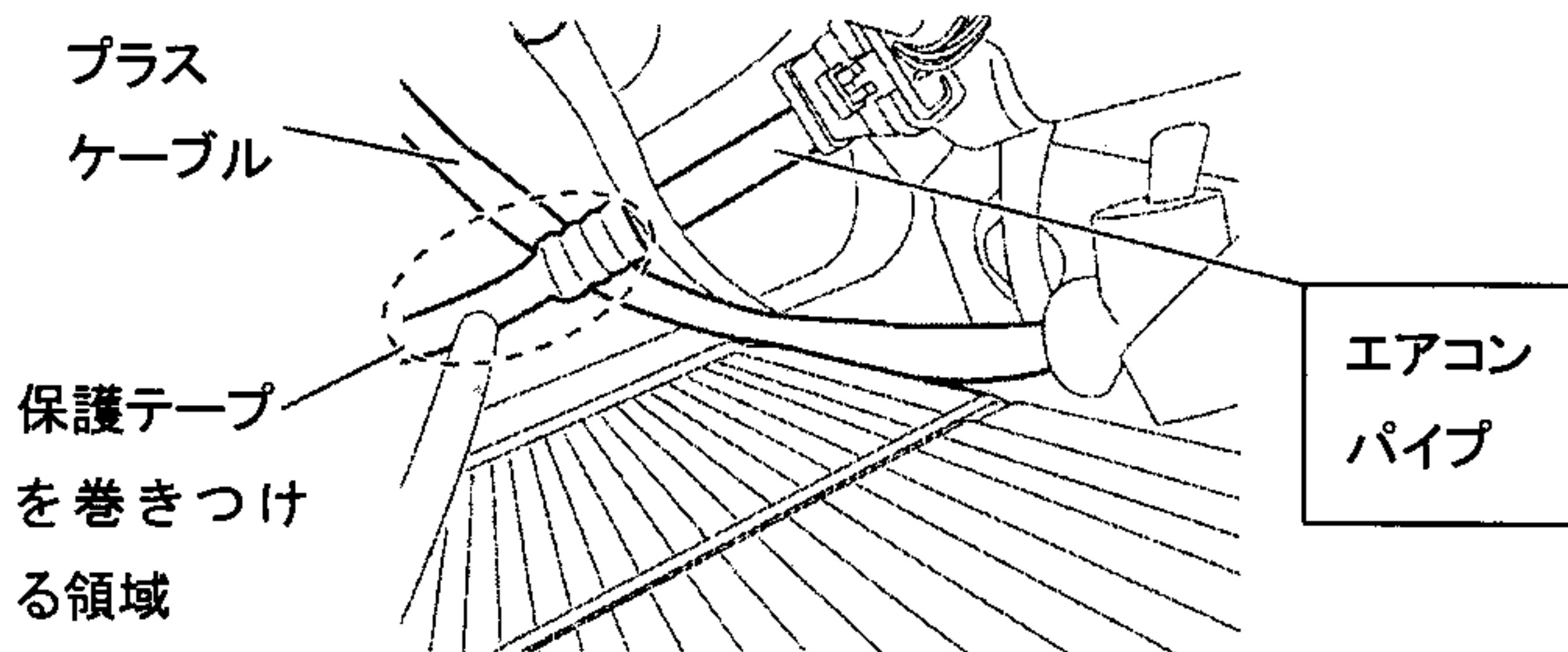
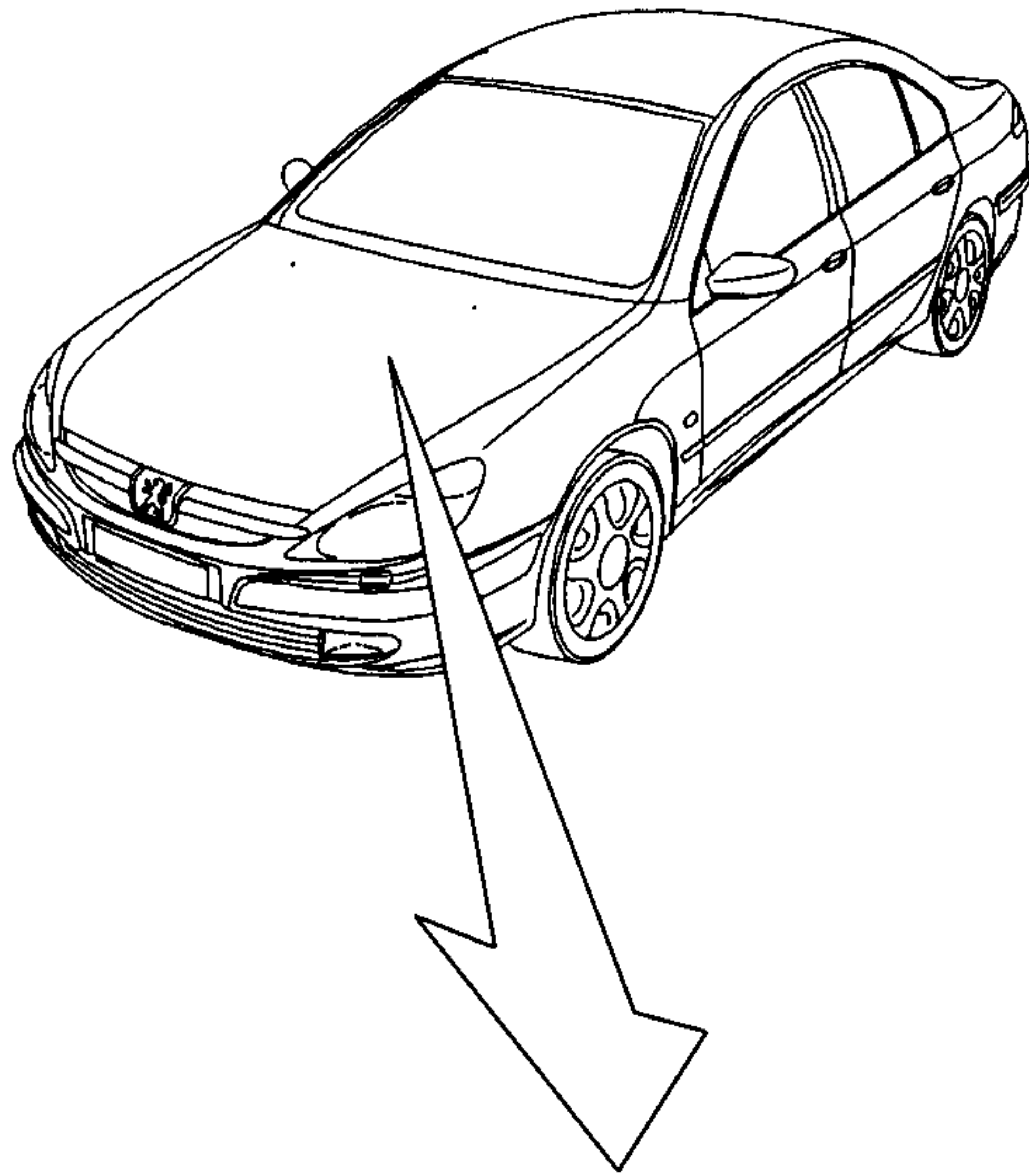


改善箇所説明図 ①



不具合発生箇所

バッテリーケーブルとエアコンディショナーの冷媒用配管のパイプ間の間隙が狭いため、そのままの状態で行くと、干渉することがある。そのため、走行時の振動によりバッテリーケーブルの皮膜が損傷し、短絡、配線の発熱が生じ、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善内容

全車両、エアコンディショナーの当該パイプに緩衝材としてフェルトシートを巻き付ける。

識別表示

当該パイプ上部に、黄色のペイントでマークを表示する。

注: 内は対策対象部品を示す